

令和2年度 後期日程 入学者選抜学力検査問題

歴史学科 歴史 出題意図

1

【出題意図】

荘園制（荘園公領制）が確立し広く展開した要因が、院政の政治・社会的展開と関係があることを理解できているかを問うた。

【採点のポイント】

- ① 延久整理令が発令した背景（国免荘の停廃）と影響（摂関家・有力寺社の荘園停廃／天皇による主導性／荘園・公領の区分確定）
- ② 御願寺など大規模造営と運営財源としての荘園（※封戸だけでなく）
- ③ 寄進地系荘園と領域型荘園の成立／その独立性（不入権の具体的説明）
- ④ 鳥羽院政期の画期（院領荘園の増加）
- ⑤ 王家（天皇家）領荘園群（八条院領、長講堂領）の成立と伝領

以上について、それぞれに関する用語の理解と論述の正確さを評価した。

2

【出題意図】

江戸時代において幕府と朝廷の関係について、その特徴と変遷を正しく理解しているかを問うた。

【採点のポイント】

- ① 禁中並公家諸法度の制定の意義、その法度を踏まえた近世前期・中期の幕府・朝廷の動向、特に朝廷の運営や幕府・朝廷の交渉のありかたなどが理解できているか。
- ② 宝暦事件の経緯と影響、光格天皇を中心とした朝廷の動き、尊号事件の経緯と影響などの近世中期以降の朝廷・幕府の動向が理解できているか。
- ③ 近世前期から後期にかけての各時期の朝幕関係の特性・変遷を論理的かつ通史的に叙述できるかどうか。

3

【出題意図】

歴史学を専攻しようとする受験生に対し、ある特定の地域・時代に関する歴史的事象につき、指定された語句を用いつつ、大局的な観点から論述させることによって、受験生の歴史に対する理解度と要約力、表現力をためすことを目的とする。

本問は4世紀から8世紀までの中国東北地方から朝鮮半島にかけての地域の政治動向を取り上げることにより、①高句麗の南下による楽浪郡滅亡と高句麗、新羅、百済による三国時代のはじまり、②3国による激しい抗争と中国南・北朝への遣使を通じた先進文化の摂取、③隋唐帝国の成立と新羅による朝鮮半島統一、④中国東北地方を中心とする渤海の建国などの動きについて論述させ、当該期の中国東北地方から朝鮮半島を中心とする国際状況に対する正確な理解力と適切な表現力をみることをねらいとした。

【採点のポイント】

- ① 指定された用語を適切に用いつつ、上記①～④をふまえた議論ができていようかどうか。
- ② 時系列や当該期の中国東北地方から朝鮮半島を中心とする国際状況を正確に理解できているかどうか。
- ③ 適切な表現を用いて、一貫した論理構成の文章となっているか。

4

【出題意図】

西ヨーロッパ中世社会の基礎的な枠組みを形成したカロリング朝フランク王国の歴史的展開とその意義を理解できているかを問うた。

【採点のポイント】

- ① メロヴィング朝フランク王国の中でカロリングが興隆した経過、とくにイスラーム勢力との関係、ローマ教皇・教会との関係について
 - ② カール大帝の統治制度および教会関係を含む文化の特徴について
 - ③ 分割相続とその後の展開について
- これらを中心にそれぞれに関する用語の理解と論述の正確さを評価した。